

VMPL2 壁掛け金具 取扱説明書

-----60 型以下のフラットテレビで、重量 79kg 以下に適用 -----

このたびは、VMPL2 の壁掛け金具をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。



お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行ってください。


販売店様・工事業者様へ


フラットテレビの取り付けには特別の技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行ってください。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

1. 安全上のご注意


お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。

 **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。


お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。


 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。


 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

警告

 工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。

 取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。

 荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。
壁の強度は少なくともフラットテレビの重量の 4 倍の強度に耐える場所が必要です。

お問い合わせ、ご購入は営業窓口へ

Sanus Systems 輸入総代理店・発売元 ネットワークジャパン株式会社

〒559-0012 大阪市住之江区東加賀屋 2-8-12 Tel: 06-6686-6355 Fax: 06-6681-5734

E-mail: info@network-jpn.com

URL: http://www.network-jpn.com/sanus/

警告



禁止

VMPL2 壁掛け金具は、32～60型の総重量79kg以下のプラズマ及び液晶のフラットテレビを、壁面に固定するためのものです。
60型以上、79kg以上のフラットテレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。
この指定を守らないと、フラットテレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となります。



禁止

湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けないで下さい。
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。
テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めて下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は2人以上で行って下さい。
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

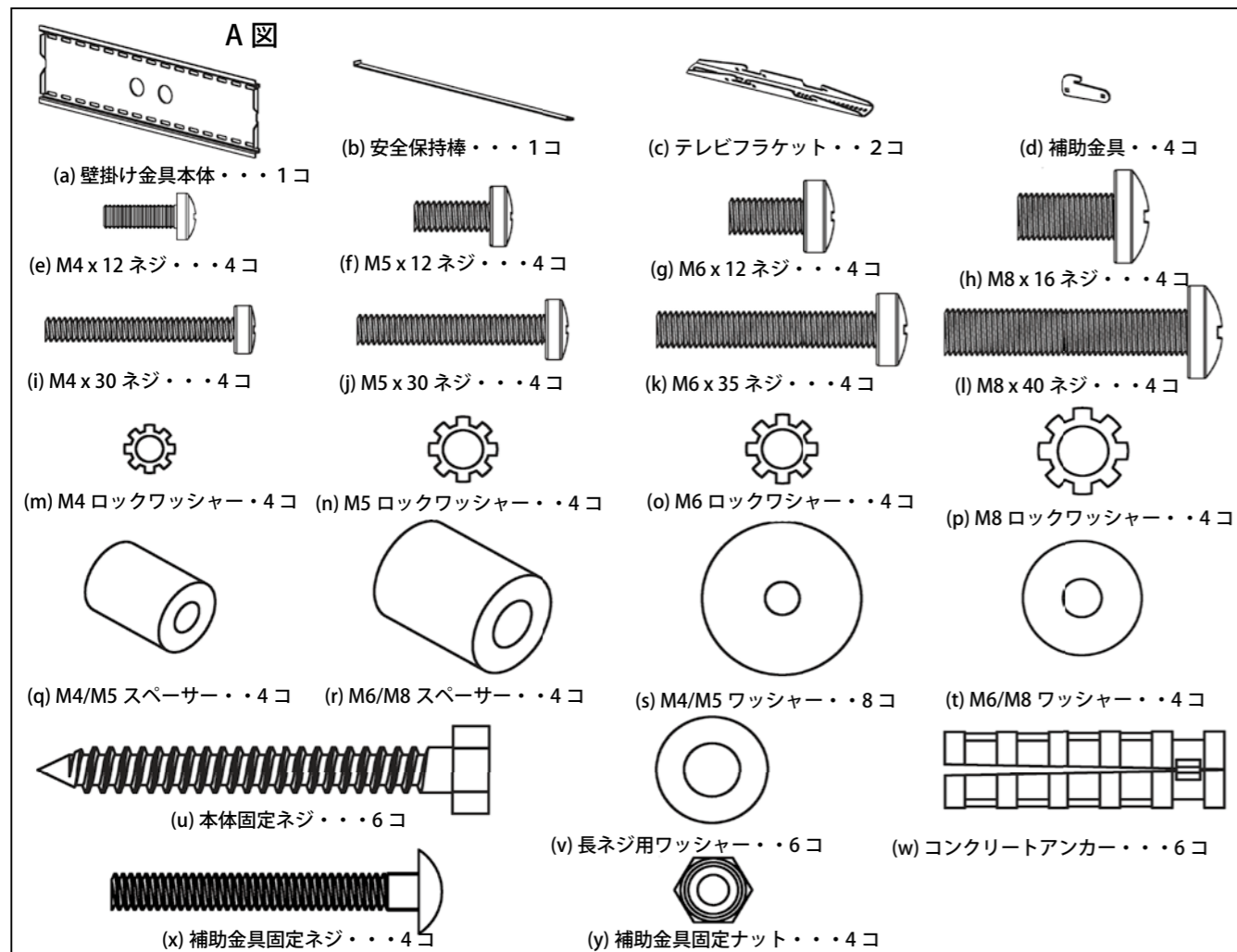
取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。

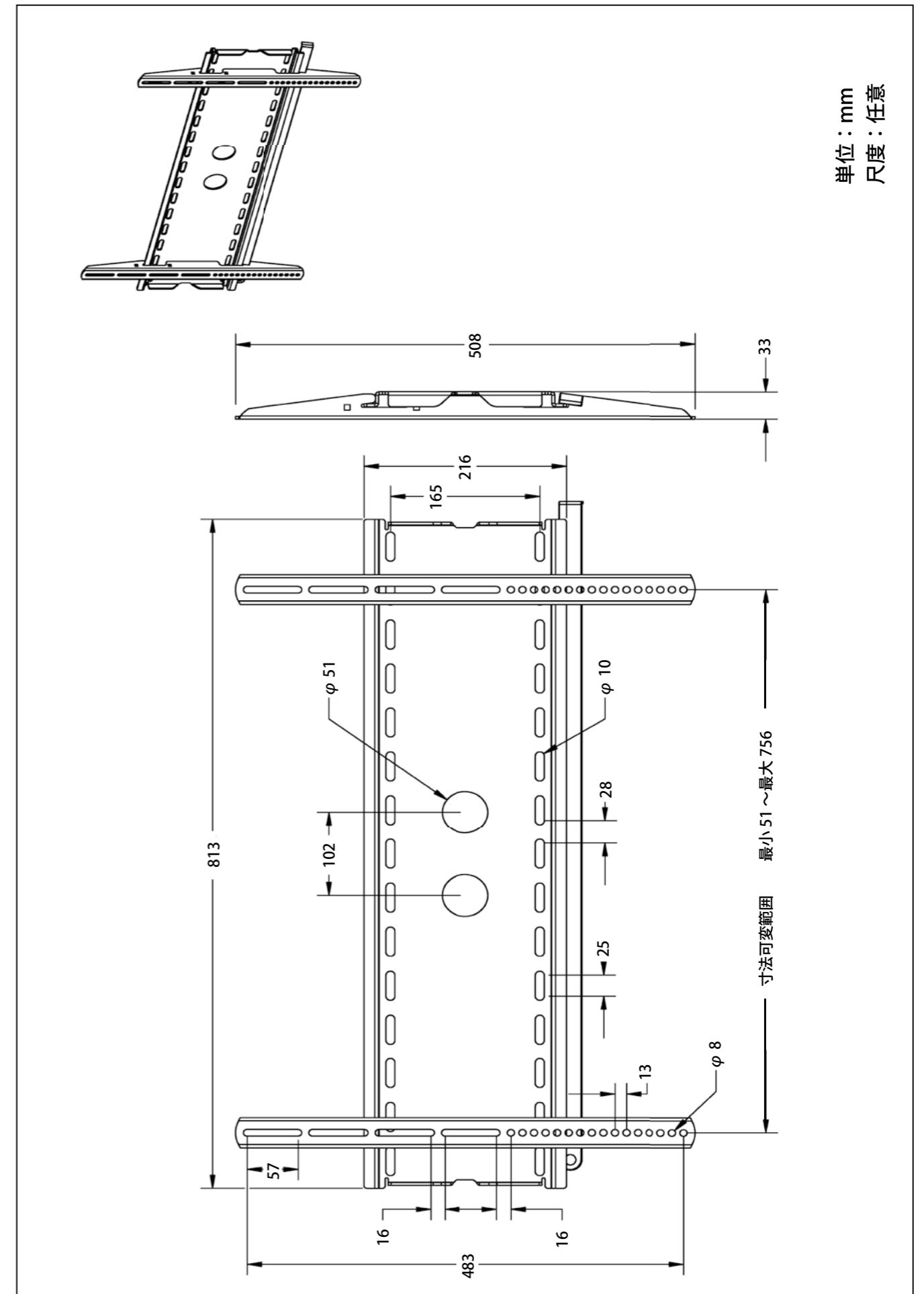
2. 部品一覧表

梱包を開梱し、組み立てる前に次のA図の部品名と現品の形を確認しておいて下さい。



(2)

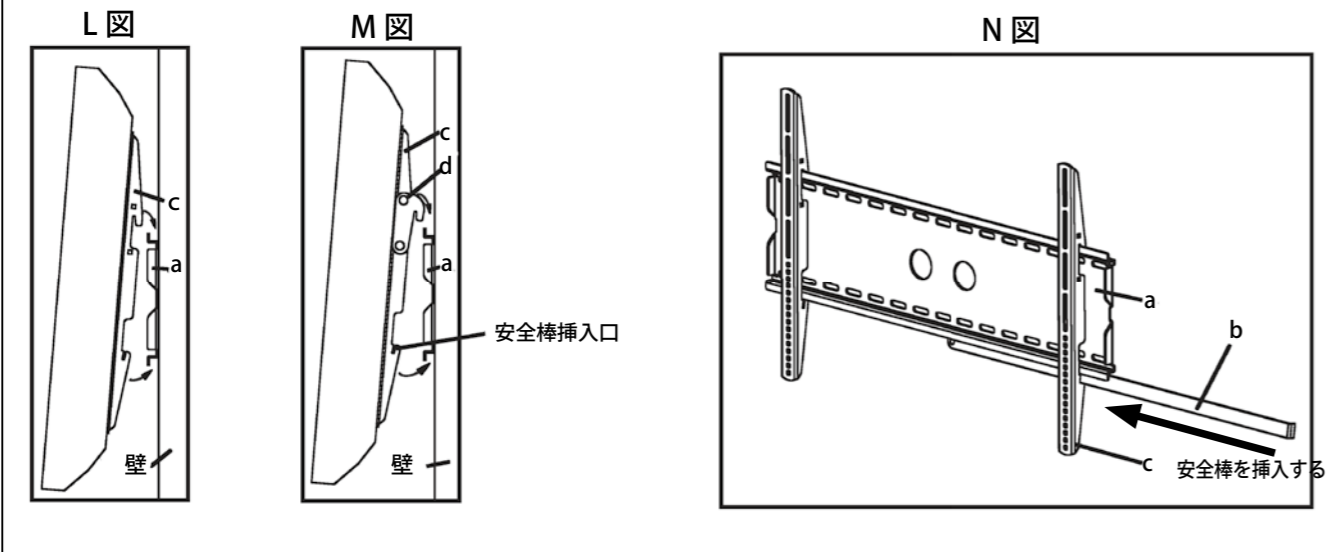
5. VMPL2 外観図



(7)

5 フラットテレビの壁掛け金具への取り付けと、安全保持棒で固定

- (1) フラットテレビを壁掛け金具本体 (a) のある場所へ二人で持ち上げます。
- (2) フラットテレビの背面に取り付けたブラケット (c) の上部のツメを L 図の様に壁掛け金具本体 (a) の上部に引っ掛けます。フラットテレビの前面を下方に 5 度傾けて取り付ける場合は、ブラケット (c) に取り付けられた補助金具 (d) のツメを M 図の様に壁掛け金具本体 (a) の上部に引っ掛けます。
- (3) 次にフラットテレビを壁面と平行に設置する場合は、L 図の様にブラケット (c) の下部を、壁掛け金具本体 (a) の下部に N 図の様に廻し気味に当てます。
- (4) フラットテレビの前面を下方に 5 度傾けて設置する場合は、M 図のようにブラケット (c) の下部を、壁掛け金具本体 (a) の下部に廻し気味に当てます。
- (5) テレビが所定の位置に取り付いたら、次は安全保持棒 (b) をブラケット (c) の下部のスロットに N 図のように挿入します。この時、安全保持棒の辺の部分に曲げてある面を、あらかじめ壁の方向に向けておきます。安全保持棒 (b) が壁掛け金具の反対側まで届いた時、南京錠でロックすれば、更に安全性が上がります。



4 フラットテレビを壁掛け金具から取り外す方法

N 図を参照して下さい。

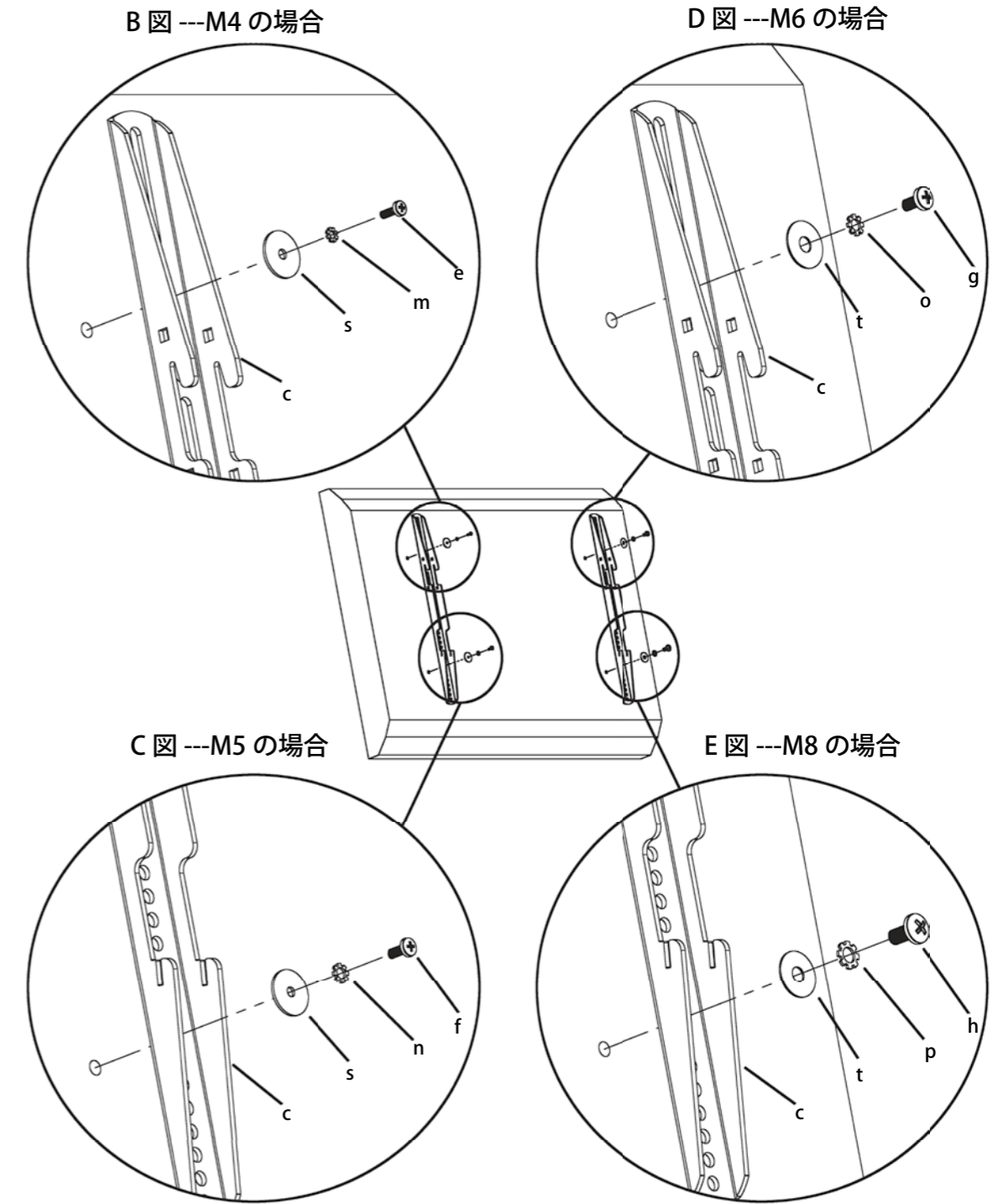
- (1) 南京錠でロックした場合は、それを解除し除去して下さい。次にブラケット (c) の下部に取り付けてある安全保持棒 (b) を引っ張って除去します。
- (2) フラットテレビを二人で上方に持ち上げて、壁掛け金具本体 (a) から取り外します。このときブラケットの下部をやや手前に引き寄せる感じでフラットテレビを持ち上げて下さい。
- (3) 以上でテレビの取り外し作業は完了です。

3 組み立てかた

1 背面が平坦なフラットテレビへのブラケット取り付け

フラットテレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を確認して下さい。

- (1) フラットテレビを壁等のしっかりした場所に置きます。フラットテレビのガラス面にキズが付くので、ガラス面を下にして床などに置かないで下さい。
- (2) フラットテレビの背面に取り付けるテレビブラケット (c) の場所を見つけ、そのネジ穴の径を調べます。M4 ネジ (e)、M5 ネジ (f)、M6 ネジ (g)、M8 ネジ (h) を順番に手で緩くねじ込んで、適合するネジの径を見つけます。もし、手でネジをねじ込んでいる時に、ネジの先端が何かにぶつかった様に感じた時は、直ちにそれ以上ネジ込むのは止めて下さい。
- (3) テレビブラケット (c) をフラットテレビの後側で、テレビの上下の中央部に垂直に置き、且つ 2 つのブラケットが左右水平となるように配置します。
- (4) 先に調べたネジの径により、B 図、C 図、D 図、E 図の内、該当する図面に従い、ロックワッシャー (m)、(n)、(o)、(p) と、M4/M5 ワッシャー (s) 又は M6/M8 ワッシャー (t) を使ってフラットテレビにブラケットをしっかりと取り付けます。

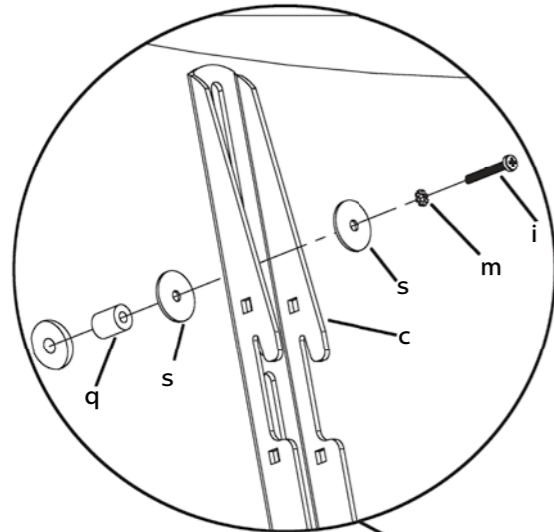


2 背面が曲線状、又は取付用ネジ部分にくぼみのあるフラットテレビへのブラケット取付方法

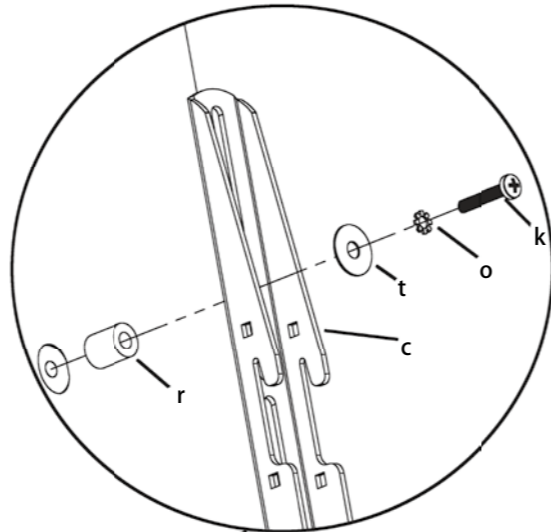
フラットテレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を確認して下さい。

- フラットテレビを壁等のしっかりした場所に置きます。
フラットテレビのガラス面にキズが付くので、ガラス面を下にして床などに置かないで下さい。
- フラットテレビの背面に取り付けるテレビブラケット (c) の場所を見つけ、そのネジ穴の径を調べます。
M4 ネジ (i)、M5 ネジ (j)、M6 ネジ (k)、M8 ネジ (l) を順番に手で緩くねじ込んで、適合するネジの径を見つけます。
もし、手でネジをねじ込んでいる時に、ネジの先端が何かにぶつかった様に感じた時は、直ちにそれ以上ネジ込むのは止めて下さい。
- テレビブラケット (c) をフラットテレビの後側で、テレビの上下の中央部に垂直に置き、且つ2つのブラケットが左右水平となるように配置します。
- 先に調べたネジの径により、F 図、G 図、H 図、I 図の内、該当する図面に従い、ロックワッシャー (m)、(n)、(o)、(p) と、M4/M5 ワッシャー (s) 又は M6/M8 ワッシャー (t)、及び M4/M5 スパース (q) 又は M6/M8 スパース (r) を使ってフラットテレビにブラケットをしっかりと取り付けます。

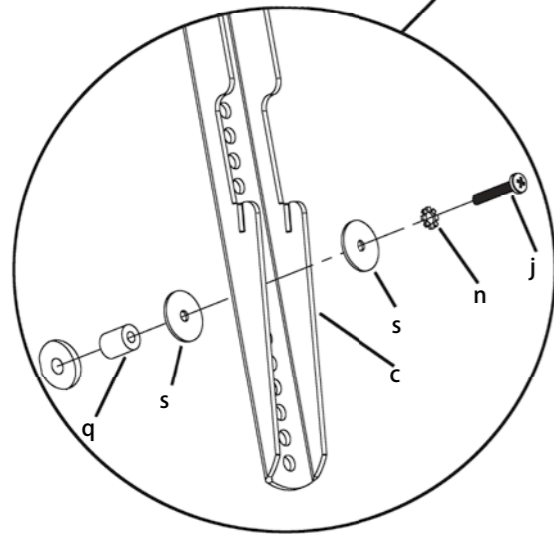
F 図 ---M4 の場合



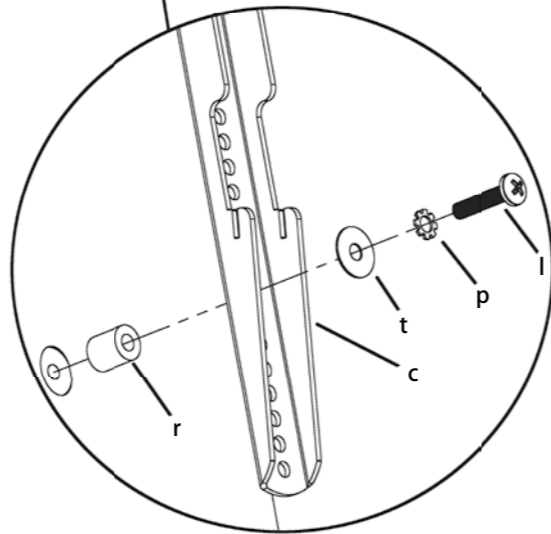
H 図 ---M6 の場合



G 図 ---M5 の場合



I 図 ---M8 の場合



(4)

3 壁掛け金具本体の取り付け



注意

壁掛け金具を取り付ける壁面は、最大 79kg のフラットテレビの重量を保持する強度が必要です。
各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。なお、この取り付け金具は、鉄柱や鉄骨には取り付けできません。
下記の「木柱及びコンクリート壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

(1) 木の柱に取り付ける場合

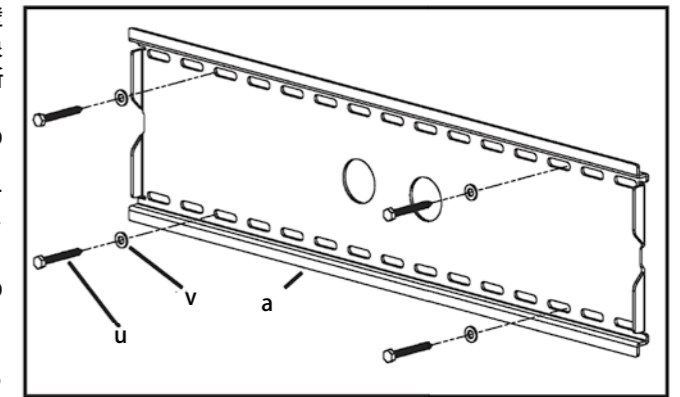
フラットテレビの取り付け場所を決め、その取り付け壁面に建っている 2 本の柱の位置を見つけて下さい。
2 本の柱の間隔は少なくとも 30cm 以上離れており、十分な強度のある柱である事を確認して下さい。
次に金具を取り付ける柱の中央部に 4.5mm 径で、深さ 60mm 程度の下穴を 4 ヶ所開けます。
2 本の柱の中心と、壁掛け金具本体の中心部を合わせ、J 図の様に本体固定ネジ (u) (6.3mm 径、63mm 長) と長ネジ用ワッシャー (v) を使って、壁面金具本体の中央部が平坦な面を壁に向けて、強固に、且つ水平に 4 ヶ所固定します。
4 本のネジだけでは十分な取り付け強度が得られない場合は、壁掛け金具本体の上下各 12 個の穴を活用して市販の適切なネジで補強して下さい。

(2) レンガ、コンクリート、ブロックに取り付ける場合

フラットテレビの取り付け場所を決め、その取り付け壁面に壁掛け金具本体を当てて、中央の穴に対し左右対象な穴位置となるように上列と下列の各スリットに 3 ヶ所づつ、合計 6 ヶ所の取り付け穴位置をマークします。
左右の外側の穴は出来るだけ離し、少なくとも中央部の大きな 2 つの丸穴より外側になるようにします。
その位置にコンクリートアンカー (w) 用の下穴として 12mm の石工ドリルで深さ 63mm の穴を開け、コンクリートアンカーを埋め込みます。
コンクリートアンカーの表面は、ドライウォールや他の物質が表面に付着していても壁面と同一位置となるよう注意して下さい。
次に本体固定ネジ (u) と長ネジ用ワッシャー (v) を使って壁面金具本体を 6 ヶ所で強固に、水平に固定します。

注意：本体固定ネジ (u) は、過度に締め付けしないで下さい。
長ネジ用ワッシャー (v) が、壁掛け金具本体に押し込まれながら廻る程度にします。

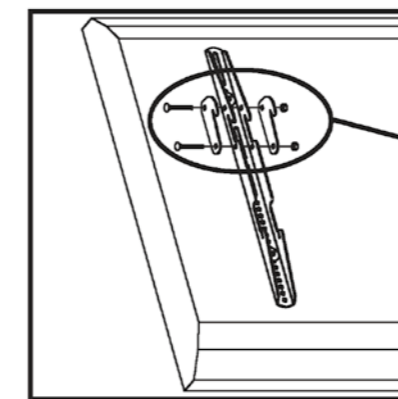
J 図



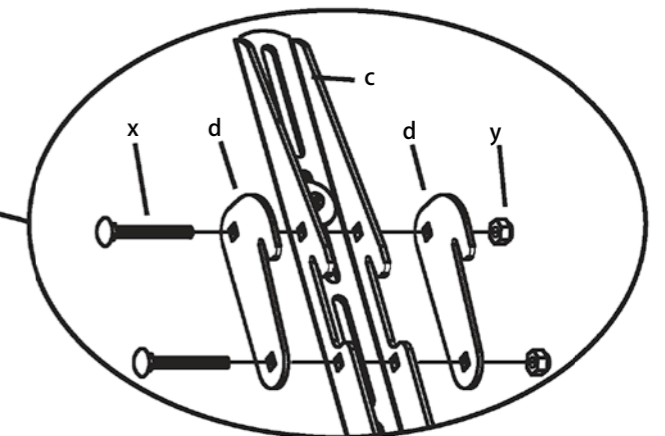
4 フラットテレビの視野角度の調整

- フラットテレビは、壁面と平行に設置するか、又は前面を 5 度下方向に傾けて設置する事が出来ます。
- フラットテレビを壁面と平行に設置する場合は、テレビブラケット (c) はそのままの状態で使用します。
- フラットテレビの前面を 5 度下方向に傾けて設置する場合は、二つの (c) テレビブラケットに K 図の様に補助金具 (d) を補助金具固定ネジ (x) と補助金具固定ナット (y) でしっかりと固定して下さい。

K 図



詳細図



(5)